



特集
1

『防災』を『忘災』にしないために

● 問合先 総務課防災危機管理室 (☎2123)

(写真) 5月15日に実施した防災パトロール。現場は山代町久原(城山)

皆さんは、『忘災』という言葉をご存じでしょうか。

「災害は、忘れたところにやってくる」。災害直後の緊張感や心構えを忘れることを戒める言葉です。東日本を襲った大地震から早2年が経ち、最近では、震災の映像をテレビで見る機会も少なくなってきました。

しかし、月日が流れて『忘災』になってはいけません。『防災』を『忘災』にしないためにも、一人ひとりが、日ごろから災害に備えておくことが大切です。

市では、今年4月から災害による被害状況を一元的に把握し、対策を検討したり指示したりする拠点として、本庁舎内に『伊万里市防災センター』を設置し、迅速な災害対応に向けた取り組みを進めています。災害はいつ、どこで、どのようにして起こるのかわかりません。災害から自分や家族、地域を守るために、今何をしなければならないのか、この機会に防災や災害について改めて考えてみましょう。

1 自然災害への備え

伊万里市は、台風の襲来が多く、洪水などの風水害を受けやすい地域です。また、市内の多くが中山間地であるため、土砂災害の危険が大きいところでもあります。自分や家族の命を守るため、さまざまな災害の原因や状況、対策の方法について知っておくことは重要なことです。

自然災害の種類

自然災害といっても、その種類はさまざまです。主なものについて紹介します。

集中豪雨

集中豪雨は、梅雨の終わりがちによく起こります。狭い地域に限られ突発的に降るため、その予測は困難で、中小河川のはんらんや土石流、崖崩れなど、大きな被害が発生する恐れがあります。自分の家の周りにどのような危険個所があるか、普段から確認をしておきましょう。

台風

九州は台風の襲来が多い地域です。進路の右側が強風になりやすいため被害が大きくなります。台風の規模や襲来

地震

時間は事前に知ることができません。雨や風が強くなる前から早めの準備をしましょう。日本は世界有数の地震多発国です。恐ろしいのは、いつでもどこで発生するか予知することが難しいことです。慌てないで行動できるよう日常から心がけておきましょう。

津波

海底を震源とする大きな地震が起こると津波が発生する場合があります。海岸付近で地震を感じたら、急いで高いところに避難しましょう。



6月は

土砂災害防止月間です

土砂災害は、降雨などに伴い突然発生し、わたしたちの生命や財産を一瞬にして奪い、深刻な被害をもたらします。そこで、災害の防止および被害の軽減につながるように、また、土砂災害への関心を深めてもらうために、雨が多くなる6月が土砂災害防止月間と定められています。

●土砂災害と雨量の関係

土砂災害のほとんどは、梅雨や台風の時期に発生しています。地質や傾斜などによって異なりますが、1時間に20ミリ以上、降り始めから100ミリ以上の雨が続いたら、土砂災害の危険が高まるため、十分な警戒が必要です。

■崖崩れ

しみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった人工的な台地の急斜面などが突然崩れ落ちます。

前ぶれ：小石が落ちてくる／崖からの水が濁る／斜面のひび割れ

■地すべり

ゆるやかな斜面で、地中の粘土層が地下水の影響で動き出します。

前ぶれ：崖から水が吹き出す／井戸や沢の水が濁る／地面のひび割れ

■土石流

谷や斜面にたまった土砂などが、大雨による水と一緒に一気に流れ出します。

前ぶれ：山鳴りがする／川が濁る／雨が降り続けているのに川の水位が下がる

さまざまな情報を活用しよう

自然災害から命を守るためには、災害情報を1秒でも早くキャッチすることが重要です。テレビやラジオの情報とともに、さまざまな情報媒体を活用しましょう。

『防災ネットあんあん』

佐賀県では、携帯電話などのメール機能を使った各種防災情報などを配信する佐賀県防災・安全・安心情報配信システム『防災ネットあんあん』を運用しています。

▽配信情報の種類

気象注意報・警報、地震情報

報などの防災情報

※防犯情報や火災情報なども配信されています。

▽配信エリア

県内全域（利用者の選択により、全市町一括または市町単位で設定が可能です）

▽利用登録の方法

利用者の携帯電話などに登録

録サイトアドレス (<http://sam.jp>) を直接入力するか、または左図のQRコードを読み取ることで登録サイトへアクセスし、以降画面に表示されたガイダンスにしたがって登録します。

●問合先

佐賀県統括本部消防防災課

(☎0952-7026)

『防災ネットあんあん』
〈佐賀県情報QRコード〉



『緊急速報メール』

市では、携帯電話会社（NTTドコモ、ソフトバンク、KDDI（au））が提供するエリアメールなどの緊急速報メールサービスを利用し、災害に関する緊急情報を市内にある携帯電話に一斉配信を行います。

▽配信情報の種類

避難勧告、避難指示、津波警報、国民保護情報など

▽配信エリア

市内全域（市民はもちろん、一時的にエリア内にいる観光客なども受信できます）

※受信料は無料です。

▽注意事項

機種によってはサービスの全部または一部が利用できない場合があります。受信可能機種の確認や機種ごとの受信設定方法などについては、各携帯電話会社の窓口またはホームページで確認してください。



エリアメール



災害などの情報をすばやくキャッチ！



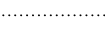
災害などの情報をすばやくキャッチ！



災害などの情報をすばやくキャッチ！



災害などの情報をすばやくキャッチ！



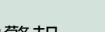
災害などの情報をすばやくキャッチ！



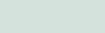
災害などの情報をすばやくキャッチ！



災害などの情報をすばやくキャッチ！



災害などの情報をすばやくキャッチ！



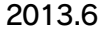
災害などの情報をすばやくキャッチ！



災害などの情報をすばやくキャッチ！



災害などの情報をすばやくキャッチ！



災害などの情報をすばやくキャッチ！

津波警報が変まりました

気象庁では、津波警報を発表する際、巨大地震が発生した場合には、数値ではなく、『巨大』や『高い』という言葉で発表されます。『巨大』という言葉を使った大津波警報が発表された時は、東日本大震災のような巨大地震が襲う恐れがあります。直ちに高台など安全な場所へ避難してください。

■新しい津波警報・注意報の分類

	巨大地震の場合の発表	数値での発表 (発表基準)
大津波警報	巨大	10 ㍴超 (10 ㍴～)
		10 ㍴ (5 ㍴～10 ㍴)
		5 ㍴ (3 ㍴～5 ㍴)
津波警報	高い	3 ㍴ (1 ㍴～3 ㍴)
津波注意報	(表記しない)	1 ㍴ (20 ㍴～1 ㍴)



目ごろからの備えが大切

自然災害による被害を最小限に抑えるため

には、日ごろからの準備や心構えが必要です。突然

起きる災害に慌てないで済むよう、備えておくべき主な

ポイントを紹介します。



家の周囲の点検と整備

雨どいや側溝を掃除して、水の流れを良くしておきましょう。また、壁や塀などに破損しているところがないかチェックし、不都合があれば修理や補強をしておきましょう。崩れやすい崖など、家の周りの危険箇所を調べることも大切です。

避難所などの確認

避難所や避難経路、家族が離ればなれになったときの連絡方法や集合場所などを確認しておきましょう。雨の日を利用して、事前に水の流れなどにも注目したり、水没しやすい道路や、少しの雨で水かさが増す川などを確認したりしておきましょう。

非常持ち出し品の準備

懐中電灯、ラジオ、応急医療品、非常食品、貴重品、衣類など、家族構成に応じた非常持ち出し品をまとめて、す

避難するときの注意

下記の『避難場所一覧表』については、次のことに注意してください。

▶大雨警報発令時など、災害が発生する恐れがある場合は、各町公民館に市職員が待機しています。避難する場合は、**まず各町公民館へ避難してください。**

▶その他の避難所は、休日や夜間などに無人となる場合があります。事前に電話などで確認のうえ避難してください。

▶緊急避難場所としている小・中学校のグラウンドなどは、突発的に大規模な災害が発生し、市の災害対策本部から指示があるまでの間、一時的に避難する場所であることを示しています。

ご確認ください！ いざという時の主な避難場所一覧表

地 区	避難所				緊急避難場所
伊万里	伊万里公民館	23-9988	伊万里小学校体育館	23-4128	伊万里小学校グラウンド 啓成中学校グラウンド 市民センターお祭り広場
	啓成中学校体育館	22-3600	生涯学習センター	22-1262	
	老人福祉センター	22-7108			
牧 島	牧島公民館	22-5783	牧島小学校体育館	23-3350	牧島小学校グラウンド
大 坪	大坪公民館	23-9898	大坪小学校体育館	23-6148	大坪小学校グラウンド 伊万里中学校グラウンド 国見台公園
	伊万里中学校体育館	23-4158			
立 花	立花公民館	20-4567	立花小学校体育館	23-2100	立花小学校グラウンド 国見台公園
	同和教育集会所	22-7462			
大川内	大川内公民館	23-2774	大川内小学校体育館	23-2542	大川内小学校グラウンド
黒 川	黒川公民館	27-0001	黒川小学校体育館	27-0010	黒川小学校グラウンド 青嶺中学校グラウンド
	青嶺中学校体育館	27-0053	林業研修センター	27-1169	
波多津	波多津公民館	25-0001	波多津小学校体育館	25-0004	波多津小学校グラウンド 波多津東小学校グラウンド 青嶺中学校グラウンド 波多津運動広場
	波多津東小学校体育館	25-0064	青嶺中学校体育館	27-0053	
	波多津老人憩の家	25-0890	波多津体育館	—	
南波多	南波多公民館	24-2001	南波多小学校体育館	24-2007	南波多小学校グラウンド 南波多中学校グラウンド
	南波多中学校体育館	24-2008	南波多ミニスポーツ会館	—	
大 川	大川コミュニティセンター	29-2001	大川小学校体育館	29-2005	大川小学校グラウンド 東陵中学校グラウンド 大川運動広場
	東陵中学校体育館	26-2012	隣保館	29-2088	
	大川老人憩の家	29-2051	大川体育館	—	
松 浦	松浦公民館	26-2001	松浦小学校体育館	26-2050	松浦小学校グラウンド 東陵中学校グラウンド 松浦運動広場
	東陵中学校体育館	26-2012			
二 里	二里公民館	23-3024	二里小学校体育館	23-3463	二里小学校グラウンド 国見中学校グラウンド 国見台公園
	国見中学校体育館	23-5195			
東山代	東山代公民館	28-0001	東山代小学校体育館	28-0024	東山代小学校グラウンド 国見中学校グラウンド 滝野小中学校グラウンド 東山代運動広場
	国見中学校体育館	23-5195	滝野小中学校体育館	28-0023	
	夢耕房たきの	28-2161			
山 代	山代公民館	28-2001	山代東小学校体育館	28-2009	山代東小学校グラウンド 山代西小学校グラウンド 山代中学校グラウンド 浦ノ崎運動広場
	山代西小学校体育館	28-3015	山代中学校体育館	28-2026	
	山代老人憩の家	28-4152			



機関名	こんなとき	電話番号
伊万里市役所	地すべり、崖崩れ、道路の損壊 河川の増水などのとき	☎23 2 1 1 1
伊万里土木事務所	地すべり、崖崩れ、道路の損壊 河川の増水などのとき	☎23 4 1 5 1
伊万里警察署	災害により生命、身体、財産に 危害が及びそうなとき	☎1 1 0または ☎23 3 1 4 4
伊万里市消防本部	災害が発生したとき、けが人 病人がでたとき	☎1 1 9または ☎23 2 1 1 9
伊万里市水道部	水道管の破裂などのとき	☎23 5 4 0 0
九州電力(株) 武雄営業所	停電などのとき (波多津地区を除く)	フリーダイヤル ☎0120-986-304
九州電力(株) 唐津営業所	停電などのとき (波多津地区)	フリーダイヤル ☎0120-986-301

もしものときは早めの通報を

災害が発生する恐れがある場合は、市内では左表の防災機関がそれぞれ対応します。災害が発生した、または発生する恐れがあると感じた場合は、なるべく早めに左表の防災機関に通報しましょう。

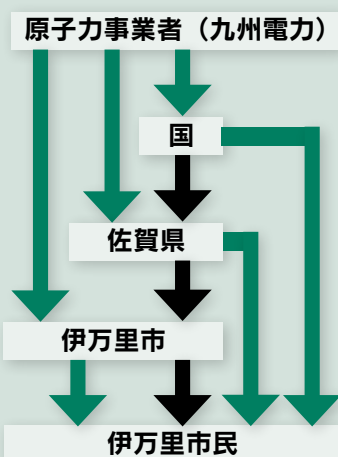
■ 緊急時には携帯電話でも情報を発信します

地震発生などの緊急時に限り、携帯電話用のホームページを開設します。外出時の情報収集にお役立てください。ホームページアドレスは以下のとおりです。

<http://www.city.imari.saga.jp/keitai/index.html>

※ 九州電力の携帯サイトにもリンクしています。

◆ 原発事故発生時の情報伝達経路 ◆



【伝達方法】

- ▷ テレビ、ラジオ放送
- ▷ 区長、地区防災会による連絡
- ▷ 消防団による広報
- ▷ ケーブルテレビの緊急放送
- ▷ 市ホームページ
- ▷ 緊急速報メールなど

原発事故発生時の情報伝達経路
原発事故の状況について、国、県、市のそれぞれから情報を伝達します。

防災活動の指示
屋内退避や避難勧告などは、国の指示に基づき市から伝達します。

- ▽ 固定型及び可搬型放射線測定装置(モニタリングポスト)を設置
大気中の放射線量を測定するため、佐賀県によって、市内6か所(固定型3か所、可搬型3か所)に設置されています。平常時も測定していて、可搬型は、その場で数値を確認できるほか、固定型については、県のホームページでも確認することができます。
- 固定型の設置場所 東陵中学校、波多津東幼稚園、市消防本部
- 可搬型の設置場所 黒川公民館

- ▽ 原子力防災資機材の配備
※ 万一、原発事故が発生した場合に、佐賀県の指示において服用することになります。
- 服用の目的と効果 原発事故で放出される恐れがある『放射性ヨウ素』の被ばく阻止、低減を図る効果がある薬です。
- ▽ 安定ヨウ素剤を配備 玄海原子力発電所から30キロ圏内の市民への対応として、市内の各町公民館と市内の小中学校に佐賀県より6万1000人分(成人換算)の安定ヨウ素剤が配備されています。

緊急時のための対応

福島県の原子力発電所の事故を受け、原子力災害に対する防災の重要性が高まっています。市では、一昨年から原子力災害への対応を強化し、県をはじめ各関係機関と連携し、さまざまな対策に取り組んでいます。ここでは、主なものについて紹介します。

2 原子力災害への備え

- 玄海原子力発電所における放射能漏れ事故に備えて、佐賀県によって防護服などの原子力防災資機材が配備されています。
- 配備場所 市役所、市消防本部
- 主な資機材 防護服、防護マスク、放射線測定器、ポケット線量計、テレビ会議システム、国、県などとの専用回線電話機、衛星携帯電話機

7月9日は

『市民防災の日』です

市では、昭和42年7月9日の大水害を教訓とし、その記憶を風化させないために、また、地域や家庭などにおいて一人ひとりの防災意識を高め、もたらうとともに、市と市民全体で防災対策を行っていくため、7月9日を『市民防災の日』と定めています。当日は、市民ロビーで昭和42年7月9日の大水害の写真や防災グッズなどの展示を行います。

災害は、家族全員が一緒のときに起きるとは限りません。そんなときでも慌てずにすむように日ごろから行っておくべきことについて、家族みんなで確認し合っておくことが大切です。我が家の防災対策などについて『市民防災の日』に、話し合ってみませんか。



総務課防災
危機管理室
中島 英幸